

平成 30 年度 講演会・研修報告書

(目的) 図書館にかかわる市民のみなさんとともに学び、実践を続けることにより、市民、行政、大学関係者とも協力し合える取り組みに発展してきている。本を通じた「岸和田の学び合いの場」づくりが定着し、広がっていくよう、継続して取り組む。

職員研修

「職場で役立つアサーション研修～心理学から人間関係のヒントを学ぶ」

講師：高野 一枝（ライブラリーコーディネーター・司書）

日時 平成 31 年 3 月 11 日（月） 参加人数 18 名

アサーションとは「自分と相手を大切にできる表現技法」で、図書館に必要なアサーション能力を身に着けるために開催しました。

図書館職員に必要とされているアサーション能力とは、「図書館の中だけでなく、外の世界に飛び出す勇氣と力をもつこと」「怖れず自分のことばで発言すること」「どうせ無理だからと言わずに、利用者の視点に立つことを諦めないこと」であるということ、図書館外の行政職員とのグループワークも交え学びました。

岸和田市子ども読書活動推進講演会

「岸和田市の子ども読書活動を推進するために

～家庭・地域・行政それぞれの立場をお互いに理解し連携を～

講師：岩崎 れい（京都ノートルダム女子大学教授）

日時 平成 31 年 3 月 15 日（金） 参加人数 28 人

図書館における子どもへの読書や、学習支援のあり方について研究している立場からお話いただきました。

第二次岸和田市子ども読書活動推進計画の計画期間が終了するにあたり、第二次計画を振り返り、次の計画策定に向けて、どのようなことができるのかを家庭や学校、地域、行政がそれぞれに連携することで広がる支援についての手がかりを見つけるために開催しました。



まち塾@まちライブラリーin 岸和田

「まちライブラリーブックフェスタ 2019in 関西に参加しよう」

講師 磯井 純充氏（森記念財団普及啓発部長）

平成 31 年 3 月 17 日（日） 参加人数 21 名

市民や行政関係者と一緒に学び実践していく中で、「まちライブラリー」というキーワードが生まれ、全国に 540 カ所ある「まちライブラリー」の提唱者をお招きして、本をきっかけに人と人の交流拠点をつくるしくみを学び、昨年、「まちライブラリーブックフェスタ 2018in 関西」に参加しました。参加者の中でも少しずつ、人と人が出会い、気づき学び合う場づくりに本が役に立つという意識が芽生えてきました。次年度もブックフェスタに参加することで、「学び合いの場」の定着に向けて取り組むことになりました。

